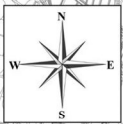
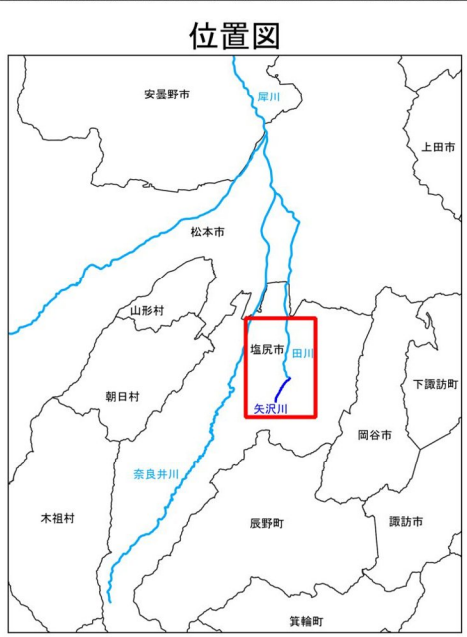


# 信濃川水系 矢沢川 水害リスクマップ (現況河道 浸水深50cm (床上浸水相当) 以上)



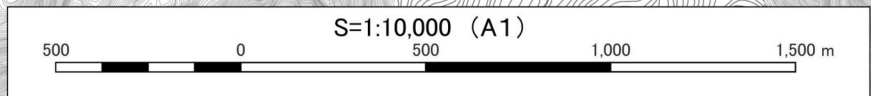
1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、現況(令和3年度末)の矢沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 $1/10$ 、 $1/30$ 、 $1/50$ 、 $1/100$ (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率がそれぞれ $1/10$ (10%)、 $1/30$ (3%)、 $1/50$ (2%)、 $1/100$ (1%))の降雨に伴う洪水により矢沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示したものです。
  - (2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や、年超過確率と浸水頻度が異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、中央集中型モデル降雨波を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - (3) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和4年4月に指定・公表したものを表示しているため、前提としている降雨や河道条件等が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和8年3月27日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 長野県土木建設事務所 信濃川水系矢沢川
  - (3) 実施区間 長野県土木建設事務所
- ・矢沢川  
左岸：塩尻市大字下西条字岩久保538番地先(一級河川管理区間上流端)から田川への合流点まで  
右岸：塩尻市大字下西条字岩久保538番地先(一級河川管理区間上流端)から田川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨  
年超過確率 $1/10$ (矢沢川流域の24時間の総雨量78mm)  
年超過確率 $1/30$ (矢沢川流域の24時間の総雨量83mm)  
年超過確率 $1/50$ (矢沢川流域の24時間の総雨量86mm)  
年超過確率 $1/100$ (矢沢川流域の24時間の総雨量90mm)  
想定最大規模(矢沢川流域の24時間の総雨量813mm)
- (5) 河道条件：現況(令和3年度末)
- (6) 関係市町村 塩尻市
- (7) その他計算条件等
- ① 氾濫計算は、対象区間をおよそ5m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が反映できない場合があります。
  - ② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。
  - ③ 以下の年超過確率 $1/10$ 、 $1/30$ 、 $1/50$ 、 $1/100$ および想定最大規模の降雨に伴う洪水による浸水状況のシミュレーション結果を重ね合わせて表示しています。(奈良井川、田川、矢沢川)

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



塩尻市

矢沢川



この地図は、塩尻市長の承認を得て、塩尻市作成の塩尻市基本図1/2,500を使用したものである。(承認番号 7建第738号)  
この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土院院長承認(使用)R7Jh5 530)  
背景図は基礎地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基礎図に準じます。